

平成28年度事業報告

1. 概要

公益財団法人として3年度を迎え、従来からの牛乳博物館の事業運営に対して、公益法人としての活動を強化するため、下記のように事業を実施した。

2. 事業活動

(1). 牛乳博物館の運営

本年度の当館の来館者は4,971人(団体3,032人・学校350人・一般1,589人)でした。特に近年は学識者のご来館も目立つようになったこともあり、入館記録を作成し来館目的の分析をおこない陳列及び説明・解説の方法について検討をした。

(2). 酪農乳業文化資産の公開・収集・分析

1) 資産公開 貸出・取材・紹介の掲載

- ① 牛乳と食を考える会の特別委員(日本牛乳協会)11名が来館。(5月)
「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」のメンバーを中心に乳業協会や乳業メーカーの方々など16名が牛乳博物館を見学しその後、情報交換をした。また、その見学内容がネットに掲載された。
- ② 月刊オートガイド「茨城ラーメンガイド」(日宣メディクス)に掲載。(6月)
日宣メディクスが発行している月刊オートガイドの別冊「茨城ラーメンガイド」にお勧めのドライブコースとして紹介された。
- ③ まっふるガイド工場「見学・社会見学」に掲載。(7月)
昭文社発行の「まっふる 工場見学・社会見学・首都圏」に今行きたいオモシロ見学スポットとして紹介された。
- ④ 古河のタウン誌月刊「こがも8月号」に掲載。(8月)
古河市地域密着生活情報誌「月刊 こがも」の表紙と特集コーナーに牛乳博物館が大きく紹介された。
- ⑤ はとバスツアー企画実施(7~8月)
はとバス「夏の日帰りバス旅行ツアー」に牛乳博物館見学が組み入れ、230人(7回)の来客があった。
- ⑥ 読売新聞(8月16日夕刊、全国版citylifeコーナー)に掲載。(8月)
読売新聞の全国版Citylifeコーナーに掲載された。
テーマ:ミュージアムに行こう「牛乳博物館」
- ⑦ 2016茨城の博物館(産業系博物館)に掲載。(8月)
茨城県の博物館(県内64館)として、産業系の牛乳博物館として紹介された。
- ⑧ 毎日新聞10月29日朝刊(茨城版・いばらぎ魅力再発見)に掲載。(10月)
毎日新聞にいばらぎ魅力再発見のコーナーで、はとバスのお客様の見学の様子や来館者の感想記事が掲載された。
- ⑨ 銀河鉄道論文(根本敬子著)博物館展示物(牛)の引用を掲載。(10月)
宮沢賢治学会の第26回研究発表会において発表された根本敬子氏の論文に牛乳博物館のエアシャー牛の資料を提供した。
- ⑩ 牛乳パック東京タワー(古河フリースクール教室)の作品を収集展示。(11月)
トモエ学校給食用牛乳パック517個使用して作られた東京タワーが寄贈された。(作成期間約2ヶ月)

- ⑪ 茨城トヨタ季刊情報誌(nakama)に掲載。(12月)
楽しくってためになる博物館・工場見学、お勧めドライブコースとして紹介された。
- ⑫ はとバス「早春の日帰りバス旅行」ツアー客44名来館。(1月)
昨年の「はとバスツアー」が好評だったので「早春日帰りバス旅行」が企画実施され、5回のツアーはいつでも満席で好評であった。
- ⑬ 西南病院広報誌「西南通信VOL74」に掲載。(1月)
茨城県境町にある西南病院広報誌に紹介された。地域の病院関係者や患者さんへのPR効果が大きかった。
- ⑭ BS日テレ情報番組に博物館出演。(複数の展示品放映)
日本の酪農の歴史紹介の中で、博物館資料が複数紹介された。
前田留吉写真、北辰舎牧場絵、牛頭形リュトン(水さし・つぼ)

2) 資産の収集

- ① 書籍及び胸像(酪農貢献者)3体を全国酪農協会より収集。(10月)
- ② 牛乳配達人今昔パネル(21枚)を収集。(1月)

3) 資産の分析

- ① 資産の整理及び登録
- ② 陳列法の改善
- ③ 認識の啓蒙(ホームページ・パンフレット等)の分析と実施。

(3). 管理部門

1) 理事会、評議委員会の開催

- ・ 平成28年 5月18日 第1回理事会開催
- ・ 平成28年 6月 2日 第1回評議員会開催
- ・ 平成29年 3月17日 第2回理事会開催

2) 予算案の策定

- ・平成29年度の事業計画及び予算案を策定する。

以 上